

もりんぴあタイムズ

号外

第7回
もりんぴあフェスティバル
2019年11月4日発行



公津の杜に秋の訪れを知らせる祭典「第7回もりんぴあフェスティバル」

9月23日(月・祝)に「第7回もりんぴあフェスティバル」が開催されました。台風17号の影響により数日前の予報では悪天も予想されましたが、当日は風が強かったものの雨も止み、時折青空も見える空模様となりました。千葉県内に甚大な被害をもたらした台風15号の影響から冷めやらぬ時期の開催となりましたが、入場延べ人数で3,597人と、たくさんの方にお越しいただきました。「もりんぴあフェスティバル」も今回で7回目を迎えました。「公津フェスタ」「公津みらいまつり」に次ぐ公津地区の大きなイベントになってまいりました。「もりんぴあフェスティバル」の始まりを告げるオープニングセレモニー。小林順子もりんぴあフェスティバル実行委員長の挨拶、当館館長の田村修の挨拶と続き、もりんぴあフェスティバルを盛り上げにきてくれたゆるキャラ「うなりくん」「チーバくん」「公津の杜小学校キャラクターもりもりくん・もりもりちゃん」の紹介が行われました。その後、公津の杜中学校吹奏楽部生徒による開会宣言、ファンファーレにより華々しくフェスティバルの幕が上がりました。また他の公務終了後につけて頂いた小泉市長にもご挨拶頂きました。1階ロビーに設けられた特設ステージでは、主にダンスの発表が行われ、2階ホール内のステージでは、バンド・器楽の演奏が行われました。普段、受付で対応している私たち職員は、スタジオの中に入って踊りや演奏の練習を見たり、聞いたりにはできないので、このサークルはこういった踊り、演奏をするのだと、受付で見せる利用者様の顔とは違った凛々しい姿を確認させてもらいました。2階ギャラリーでは、書道を中心に様々な芸術作品が壁一面を埋め尽くし、来場者の関心をひきました。展示以外にも実際に体験できるブースもあり、芸術を手で触れることができました。屋外の軒下、2階回廊では焼きそば、フランクフルト、カレーなどのお祭り定番のものからロコモコ丼、肉巻き串、笹おやきなど様々なおいしいものが販売されました。来場者は会場めぐりクイズに参加したり、音楽を聴いたり、ダンス、作品を見たり、体験したりと思思いのお祭りを楽しまれていました。



▲挨拶する小泉市長



▲オープニングセレモニーでの小林実行委員長の挨拶

▼うなりくんはどこにいても大人気



サロン特設ステージ

公津の杜中学校吹奏楽部

アルマーザ

公津の杜なかよしひろば

アロハ・フラ・ティアレ

Halau Haahulanahenahe

バレエ・フラッペ

レイピカケ・サークル

Marica Japan

龍栄會テコンドー

楽しい太極拳

天照

マーリエ・ブア・ティアレ

クリエイティブバレエ



▲もりんぴあフェスティバルの開会宣言をした公津の杜中学校吹奏楽部



▲なかよしひろば利用者の有志による合唱の発表もロビーで行われた。

サロンの特設ステージは開会式も行われるため、もりんぴあフェスティバルのメインステージとなっております。毎年協力してくださっている公津の杜中学校吹奏楽部による開会式後のファンファーレ、開会宣言に次ぐ素晴らしい演奏で会場は一気にフェスティバルらしい高揚感に満ちあふれました。その後も、発表終了の 5 時頃まで観客は途絶えることはありませんでした。

サロン特設ステージは主にダンスの発表ですが、ジャンルは多岐にわたりました。フラ、バレエ、ベリーダンス、太極拳からテコンドーの演舞まで。今年もりんぴあ内の施設である公津の杜なかよしひろばから、子どもたちとお母さん方による合唱の参加もあり、会場を和ませていただきました。初参加のサークルあり、毎回参加して下さるサークルあり、文化的多様性を感じることができる見事なステージになりました。

MORI×MORIホール



ラウレア・ハワイアンウクレレ

アコードアンサンブル

ともろーず

ビューティティ・アンド・ピースツ

ういぞ

アンサンブルの会

シニア・アロハ・サウンズ

VINS

Fifty-Fifty

Slowk

チェック

レアトーンズ

大人のソロギターサークル



出演団体



▲ウクレレ演奏のハワイアンミュージックでは、フラダンスサークルとのコラボもありました。



▲会場めぐりクイズの答えはステージ後ろのスクリーンに映し出されました。

今年度は MORI×MORI ホールでの演奏を希望する団体が過去最高の 24 団体いました。楽器をセッティングする時間等の問題や限られた時間の中で行うという問題から、半数近い 11 団体をお断りする結果となってしまったことが残念でなりません。その思いを知ってか知らずか、出場された方々の演奏は例年にも増して熱が入っていたように感じます。今年度もポップス、歌謡曲、ロック、フォーク、ハワイアンなど様々な音楽がカバー、オリジナル問わず、ホールに鳴り響きました。また多くの人に長く音楽を聴いて頂きたいという願いから、会場めぐりクイズの答えをステージ背面にあるスクリーンを使用し、5 分に 1 度投影されるように設定しました。このことにより入場するタイミングにもよりますが、1 曲は聴いてもらえることとなります。年々、変化や工夫を凝らして、より多くの方に利用者様の音楽を届けたいです。

ギャラリーMORI×MORI

ワード絵画彩の会

仮名書道研究会

青穂会

裕成会

片岡書道教室

洗心会

マイドール

公津書道クラブ

成田アートフォトクラブ

国際医療福祉大学ぬいぐるみ病院

公津の杜なかよしひろば



▲公津の杜なかよしひろばは体験ブースも併設し、にぎわいを見せていた



▲国際医療福祉大学による「ぬいぐるみ病院」ぬいぐるみを使って疑似医療を体験



2階ギャラリーMORI×MORIは、今年もまた、例年参加されている11のサークル、団体が、日頃の活動の成果を発表されて、広い壁面に多くの力作、傑作が並びました。

当日は朝から「もりんぴあフェスティバル」に来られた大勢の来館者がギャラリーの「写真」、「陶器の絵付け」、「書道」、「パソコンによる絵画」、「人形制作」など様々な作品の前を訪れました。

作品を鑑賞されるだけでなく、参加団体のメンバーの方の説明を聞かれたり、「なかよしひろば」の活動に触れたり、今回が2回目の国際医療福祉大学の「ぬいぐるみ病院」では子どもたちの楽しい体験学習の場も見られました。

ギャラリーに展示された作品は、フェスティバルの終了後1週間は継続展示されて、来館者を楽しませていました。

マルシェ



NPO法人子供らと歩む親の会
杜の風

社会福祉法人まごころ

台方ラーメン

北須賀直売所まこも

のぞみの園

アーアンドデイ大栄

成田ヒスパニックサークル

公津の杜小学校PTA

公津スカイ倶楽部

ル・シャキパル

成田市立図書館公津の杜分館

してかん屋 (アクティオ)



出店団体



▲可愛い手芸アクセサリー。どれにしようかな、全部ほしくなっちゃう！



▲楽しいゲームがたくさん！子どもたちの笑顔と楽しそうな声が会場中にあふれました。

今年度のマルシェではメインエントランス横で7団体、2階回廊で6団体の計13団体の出店があり、店はどこも大盛況でした。運営スタッフは約120名超、大人、子供のボランティアも多く参加してくれました。

当日は台風一過で成田市での最高気温は30℃超えを記録。季節外れの暑さのおかげでアイスやかき氷、ジュースなどが大人気！おやき、からあげ、串もの、カレー、ロコモコ丼、もつ煮など、メニューも充実していて食欲をそそります。なかでも焼きそばは安くて量があって好評でした。

2階の物販中心のエリアもたいへんにぎわいで、みんな笑顔で楽しんでいました。パンはたくさん種類があり、どれにしようか迷ってしまうほど。和菓子やコーヒー、缶バッジや手芸品などの販売の他、フェイスペイントもありました。手作りアクセサリーやゲームなどの体験コーナーも盛り沢山で、子どもたちが目を輝かせながら参加していました。

イベント・講座



3 階では恒例となった簡易プラネタリウムの「星たまご」に沢山の子供たちが参加し、お話しや簡易プラネタリウムとは思えない星空に胸をときめかせました。

キッチンスタジオでは、「お菓子作り教室」が行われ、自分で生地を伸ばしたり型抜きしたりクッキー作りを楽しみました。

工芸スタジオでは「オリジナル缶バッジ作り」が行われ、個性あふれるバッジが出来上がりました。

スタジオ 2 では今年も国際医療福祉大学の協力で「杜の保健室」を開催、食事バランスを数値化して健康をチェックしました。「チャレンジランキング」では新種目も登場して熱戦を繰り広げました。

2 階の会議室では、お人形作りやフラワーアレンジメントの体験、「英語」によるスピーチの実演などで楽しみました。

図書館コーナー

2階のMORI×MORIホール前では、図書館で使わなくなった本を皆さんに無償でお配りする「リサイクルフェア」を開催しました。この企画も今年で6回目となりました。毎年ご好評をいただいております。おかげさまで今回も多くの方にご来場いただきました。



当日の朝には、会場前にリサイクルフェアの開始を待つ人の行列ができました。開始直後からすぐに本を入れた箱の周りには人だかりができ、興味のある分野の本を思い思いに眺めて手に取る様子が見られました。例年料理本や手芸の本、園芸の本などが人気で、次から次へと本を足してもなかなか追いつかないほどでした。他の出し物を見てから足を運んでくれたご家族も多く、欲しい本があるか話し合いながら、どの本を持って帰るか随分悩まれている方もいたようです。もうすぐお姉さんになるので赤ちゃんに読んであげられる絵本を探しているという女の子や、毎年この時期を楽しみにしていると声をかけてくださる男性もいらっしゃいました。



この日1日でおおよそ3400冊の本が新しい持ち主に引き取られていきました。今回リサイクル本として配布したのは、出版から年数が経過したものや、改訂版・新版が出版されて図書館での役目を終えた本です。皆さんのお手で本が再び活用される事を願っています。

なかよしひろばコーナー

2階のギャラリーで、公津の杜なかよしひろばの紹介、子どもたちが描いた絵やひろばの利用者でもあるカメラマンのパパが撮った写真を展示、ママ講師によるロゼット作り体験、ママの手作り髪かざりを販売しました。お絵かき展示では、ママパパが我が子やお友だちの作品を見つけて嬉しそうに見ていました。中には、おじいちゃんを連れて、1才の我が子のお絵かき作品を見にやってきたパパもいました。かわいらしい絵と素敵な写真に、通りがかった人が足を止めて見入っていました。ロゼット作り体験コーナーは親子一緒に布やリボンを選んでオリジナルの作品が作れて、子どもたちも満足そう。手作り髪かざりも人気で、「どれにしようかな〜」と楽しそうに皆さん選んでいました。



また、今回はひろばママのコーラスチームが初めてサロンコンサートに参加しました。ママたちは他のチームの華やかなダンスなどに圧倒され、やや緊張した様子でしたが、歌い始めると落ち着いて、美しい歌声を会場に響かせました。特に1曲目の“パプリカ”は、ママと一緒にステージに上がった子ども達だけでなく、客席にいた子ども達も、歌に合わせて楽しそうに踊り、とても盛り上がりました。二部合唱曲“椰子の実”やアニメソングなど、普段の練習の成果を発揮して歌い終わった後は、ママたちも晴々とした表情でした。

ひろばの中では、屋台で買った食べ物でお昼をとったり、休憩のために立ち寄りたりする親子でにぎわい、お祭りらしい1日となりました。



実行委員会・ボランティア



7月15日(月・祝)に4月から募集していたフェスティバル出演、出展、出店者からなる「第7回もりんぴあフェスティバル実行委員会」の会議を実施し、昨年副委員長だった小林順子さんが今年度より委員長となった報告や今回の実施要項の確認が行われた他、ボランティアへの協力依頼もありました。



その後、部門ごとに分かれての会議では、演奏、演舞時間・出演順の決定や出店・出展場所や必要備品の確認が行われた他、それぞれの注意事項の確認が行われました。2ヶ月後の本番に向けた準備が本格化しました。

7回目となった今回のフェスティバルでもたくさんのボランティアの方々にご協力いただきました。

もりんぴあフェスティバル実行委員会のボランティアの方々は、当日臨時駐車場となった公津の杜小学校駐車場への案内や誘導で活躍して頂きました。



普段、屋上庭園や駐車場入り口脇などの花壇の手入れを行っている「グリーンボランティア」の方々には、11時より先着150名に配られたローズマリーの花苗の袋詰めや配布のお手伝いをして頂きました。

小学生のボランティアは、入口にて入場者にパンフレットを配布したり、入場者の数を数える役割を見事に果たしました。この他、好奇心旺盛でいろいろなことに挑戦することが大好きな千葉県の赤い人気者になったボランティアの方もいらっしゃいました。



今回で5回目となった「会場めぐりクイズ」。2階の演奏や展示、3階のイベントを余すところなく知ってもらう為にはじまりました。

ご協力いただいた企業様のおかげで、目玉の航空券をはじめ、商品券や図書券、お米にうなりくんのぬいぐるみなどさまざまなものが用意されました。

厳正な抽選および答え合わせの結果、当選されたの方々には9月28日(土)に行われた表彰式にてそれぞれに商品が手渡されました。

来年はどんな賞品が用意されるか、今から楽しみです。

公津の杜コミュニティセンター
(指定管理者 アクティオ株式会社)
発行人: 田村 修 編集: 鹿嶋 聡明
〒286-0048 千葉県成田市公津の杜4丁目8番地
TEL: 0476-27-5252 FAX: 0476-27-5353
E-mail: info-kozu@morinpiakozu.jp HP: <http://morinpiakozu.jp/>

もりんぴあ
こうづ
Morinpia Kozu